

The logo for 'FREE THE CHILDREN' is displayed in white, bold, uppercase letters on a blue rectangular background. The text is arranged in two lines: 'FREE THE' on the top line and 'CHILDREN' on the bottom line. The background has a slight notch on the left side.

FREE THE CHILDREN

2022年度 第18期
21年 事業報告書
2022年3月13日総会承認資料

特定非営利活動法人フリー・ザ・チルドレン・ジャパン

〒157-0062東京都世田谷区南烏山6-6-5安藤ビル3F
TEL : 03-6321-8948
Email: info@ftcj.org
URL : <https://www.ftcj.org>

1. 2021年度 事業を実施して

2021年は、新型コロナウイルス感染拡大から1年が経過しても収束の気配が訪れず、何度も感染拡大の波が来ては去りを繰り返し、感染予防に常に気を付けコロナとともに過ごす生活が日常となりました。私たちフリー・ザ・チルドレン・ジャパン (FTCJ)でも、オンラインを通じた活動が日常となり、世田谷区に置く事務所の開設は原則週に3日とし、対面での活動は限られたものとなりました。

2021年6月に発表されたILO (国際労働機関) とユニセフ(国連児童基金)の報告書によると、世界には1億6000万人 (2020年推計) の子どもが児童労働に従事していることが明らかとなりました。今回発表された推計では残念ながら、20年ぶりに児童労働者数は減少傾向から増加に転じてしまいました。この児童労働者数は、世界の子どもの10人にひとりにあたります。新型コロナウイルスが世界規模で感染拡大し多くの貧困家庭で親の収入が減少したことで、今後さらに児童労働者数が増えることが危惧されます。

国内に目を向けると、新型コロナウイルスの感染拡大の影響が長期化する中、子どもへの虐待に悩む親からの相談が相次いでおり、配偶者らによる暴力 (DV) はコロナ禍で大幅に増えていると報道されています。

私たちFTCJでは、こうしたコロナ禍において、増々厳しい状況に置かれている国際協力事業地や国内での子どもとその家族への保健向上や教育支援を行いました。また、日本の子どもや若者がコロナ禍においても感染予防をしながら活動できるようなサポートや、子どもの権利が保障される日本社会を目指し、子ども基本法の制定に向け、日本政府や国会議員をはじめ日本社会に子どもの声を届けることに注力しました。

また、なんといっても私たちにとっての大きな一歩は、ソーシャルアクションを起こした子どもや若者の活動を称え祝いエンパワーする「チェンジメーカー・フェス」の第一回をオンラインではありましたが開催できたことです。10年以上前から日本で開催をしたいと計画していたイベントでしたのでオンラインであっても実現できたことは大変嬉しく感じました。実現に際したくさんの方にご協力いただきましたことを改めてお礼申し上げます。

事務局体制については、リモートワークが新しい日常となり、FTCJでもスタッフが世田谷の事務所以外でも仕事ができるよう体制を強化しました。というのも、6月から代表の中島は新潟へ、事務局長の原元は山口へ移住することになり、物理的に東京を離れることになり、オンラインやクラウドでの業務体制を整える必要性が出て参りました。2020年からリモートワーク環境整備のための東京都の助成金などを活用してきたことで、比較的スムーズに移行できました。

2020年のコロナ禍による様々な変化を受け、またちょうど団体としてもミッション達成にむけてその道のりと具体的な活動を見直す時期になっていたため、Panasonic NPO/NGOサポートファンドfor SDGsの助成金で、中長期計画を策定することができました。コロナにより生活様式や働き方など価値観が変わったこの転換期に理事や監事をはじめ、子どもアンバサダーやインターンの皆さんから意見を伺いながらアドバイザーの河合将生さんにファシリテーターをしていただいて団体の強みやFTCJらしい活動について意見交換できたことは大変有意義な時間となりました。話合いで出た内容を今後の活動計画に反映させ取組んでいきます。

海外視察やスタディツアー、国内でのキャンプの実開催は年を通じて困難な状況ではありましたが、多くの方にご支援ご協力をいただいたことで、かたちを変えて事業を実施することができました。ご協力くださった皆さまご自身それぞれ大変な状況のなかいらっしやっただと思いますが、FTCJの活動に心を寄せて応援くださり、心よりお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

代表理事 中島早苗

2. 2021年度 事業活動報告

1) 子ども主体事業

◆事業の目的と役割 ・ 活動内容

子ども達が自ら世界の子どもの権利を守るため、主体的に活動する機会提供

活動名	活動内容	実施日時	実施場所	受益対象者の範囲及び人数	事業費(千円)
FTCJアンバサダー活動 (旧子ども代表委員)	<p>下記の3つを子どもアンバサダーの役割として設定し、子どもメンバーに公募した。</p> <p>①子どもファシリテーターとなり子どもメンバーミートアップを開催し、全国の子どものメンバーの声を聞き、子どもメンバー同士を繋ぐ。</p> <p>②積極的に、自らのアクションを実施し、その様子を記事にして発信する。</p> <p>③子どもメンバーの代表として団体の総会に議決権をもって参加する。団体運営について意見のある場合は、事務局に提言を行う。</p> <p>2月27日(土) 勉強会 文章の書き方講座 3月14日(日) 2021年度総会・意見交換会に出席 3-5月 教育雑誌「生活教育」からの依頼を受け3名が執筆 4-10月 リレーコラムにて9名が計10回コラムを投稿 5月5日(水) Weunionday 2021オンライン開催 4名がファシリテーターを担当 8月 新年度アンバサダー募集開始 9月 新アンバサダー14名が就任 9月18日(土) 勉強会 ファシリテーター講座 10月2日(日) ミートアップを開催 11名参加 司会、アイスブレイク、ファシリテーターを担当 11月 企画会議3回実施 11月6,7日 子どもの権利条約フォーラムinかわさき全体会に2名登壇、分科会の企画に2名参加 12月19日(日) 企画会議&千歳烏山付近で街頭募金実施 街頭募金には4名のアンバサダーと2名のメンバーが参加、2時間で58,767円の寄付を集めた。 現メンバーで2022年9月まで活動予定</p> <p>(2021-2022 FTCJ子どもアンバサダー) 任期2020年10月1日~2021年10月31日 (13か月間) 小原りん(小学5年生、東京都)、波田野優(小学5年生、東京都)、佐藤 桔子(中学1年生、東京都)、松田和馬(中学2年生、千葉県)、刈屋 彩乃(中学2年生、東京都)、河合はな(高校2年生、神奈川県)、坂口くり果(中学2年生、東京都)、杉田彩華(高校2年生、東京都)、松田佳乃子(高校2年生、大阪府)、宮地 佐代子(高校2年生、神奈川県)、飯塚優(高校2年生、神奈川県)、石川実桜(高校2年生、東京都)、Remi Ohashi(高校2年生、神奈川県)、森大輝(高校3年生、長野県)</p> <p>(2021-2022 FTCJ子どもアンバサダー) 任期2021年10月1日~2022年10月31日 (13か月間) 波田野優(小学6年生、東京都)、山口 きよたか(中学1年生、岐阜県)、あんな(中学1年生、千葉県)、今川つかさ(中学2年生、埼玉県)、じゅの(中学2年生、東京都) 刈屋彩乃(中学3年生、東京都)、なの(中学3年生、東京都)、宮武喜更(中学3年生、神奈川県)、植岡優里奈(中学3年生、神奈川県)、山岸永実(中学3年生、東京都)、高石莉緒(高校1年生、東京都)、まつかわかなえ(高校1年生、東京都)、なみきりの(高校2年生、東京都)、横澤日菜子(高校2年生、東京都)</p>	通年	全国	14人	767

2) 子ども活動応援事業

◆事業の目的と役割 ・ 活動内容

- 国内の子どもが、世界の開発途上国で見られる児童労働など苛酷な状況に置かれている子どもの現状を学び、問題を解決するための支援活動の企画・実行を主体的に行えるように育成する。
- 子ども達が自ら世界の子どもの権利を守るため、主体的に活動する機会を提供し、その活動をサポートする。

◆助成協力：子どもゆめ基金、日本労働組合総連合会 愛のかんぱ（テイク・アクション・キャンプ・ジャパン）
大東建託みらい基金(スカラシップ、メンバー活動)

活動名	活動内容	実施日時	実施場所	受益対象者の範囲及び人数	事業費(千円)
子ども活動家育成	<p>▼Take Action Camp Japanの企画実施</p> <p>日本にいる子ども若者が社会問題を知り、その解決に向けて自らがアクションを起こし、より良い世界のために活動するためのノウハウを学ぶ場を提供した。例年、合宿形式で実施していたが新型コロナウイルスの影響を受け、合宿は中止しオンライン形式で実施した。</p> <p>春：2日間プログラムを実施 5/3-4 26名参加 夏：4日間プログラムを実施 8/17-20 32名参加 冬：中止</p>	春5/3-4 夏8/17-20	オンライン (ZOOM)	春26人 夏32人	3011
	<p>▼グローバルチャレンジプログラムの実施</p> <p>EFと共同で行っている本プログラムは新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、全てのプログラムが中止となり実施せず。</p>	-	-	-	-
メンバー活動サポート	<p>メンバー登録をした子どもや若者イベントや活動の情報を定期的に流したり、電話やメールでの相談や質問に対応し子どもメンバーが主体的に活動できるようサポートを実施。例年行っていたウェルカムデー等はコロナの影響を受け、中止。</p> <p>▼WeunionDayの実施</p> <p>5月5日 同窓会イベントWeunionDay2021をオンラインで開催し、14名が参加した。</p>	通年	主に事務所	全国のメンバー 1,500人	400
	<p>▼We Are the Movementの実施</p> <p>大東建託グループみらい基金による支援により、子ども・ユースメンバーからソーシャルアクションプロジェクト企画を募り、選考し、選ばれたプロジェクトの実施のサポートを行った。7件の応募があり、6件(総勢33名)が支援プロジェクトとして採用。</p> <p>「ジェンダー」「プラスチックごみ」「水へのアクセス」「子どもに関する」「ミートレスマンデー」「入管問題」について、企画・実施された。</p>	8月～12月	オフラインおよびオンライン	300	2500
スタディツアー	<p>新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響を受け、予定していたすべてのツアーを中止とした。</p>	-	-	-	-

3) 外部ネットワーク

◆事業の目的と役割 ・ 活動内容

様々なセクター、組織とつながってネットワークを構築、協働しFTCJのビジョン、ゴールを実現することを目指す。

<2021年度参加・構築したネットワーク>

・JNNE（教育協力NGOネットワーク）：開発途上国の子どもへの教育支援を行っているNGOによるネットワーク。登録団体間での情報交換、勉強会を実施、外務省との意見交換や政策提言などを行っている。世界の全ての子どもへの良質な基礎教育提供を目指し世界のEFA（万人のための教育）運動とつながって国内でのアドボカシーや政策提言などのキャンペーン活動をしている。

・児童労働ネットワーク（CLネット）：児童労働の廃絶に向け、勉強会、キャンペーンなどを展開。児童労働問題に取り組むNGO、労働組合、その他非営利組織、個人で構成されており、FTCJは運営委員団体として参加。

・広げよう！子どもの権利条約キャンペーン：2019年4月から3年間の期間予定で始まった日本社会での子どもの権利の実現に向けたネットワーク。FTCJは実行委員として参加し主に政策提言に子どもが参加できるように活動。2021年の話し合いにより、更に3年間の活動延長を決定。

・フェアトレードタウン世田谷推進委員会：世田谷区をフェアトレードタウンに認定されること目指し設置されたネットワーク。FTCJ代表の中島が理事を務めている。

・その他非営利組織への会員登録や他団体との協力

団体のビジョンを達成し、より良い組織運営や社会問題に取り組む組織との情報交換のため新公益連盟への加盟や関西NGO協議会などのネットワーク、SDGs市民社会ネットワークに参加した。

活動名	活動内容	実施日時	実施場所	受益対象者の範囲及び人数	事業費(千円)
JNNE/ SDG4教育 キャンペーン (旧：世界一 大きな授業)	「SDG4教育キャンペーン2021」では下記3点を実施した。 ・2021年3月に8党へSDG4（教育目標）に関するアンケートを実施し、自民・公明・立憲・共産・れいわ・社民の6党から回答を得た。 ・4～5月にかけ、アンケート各設問において、「アンケート回答を最も支持する政党はどこか」問うオンライン投票を実施した結果、全国から3,896（前年比+1,337人）名の子ども・ユース・市民が参加し、日本の教育政策及び海外教育援助に関する多くのコメント・提言が寄せられた。 ・投票結果を踏まえ、6月～9月に20名の子ども・ユース代表がれいわを除く5党の国会議員（一部、当時の現職を含む）10名・文科・財務・外務省の高官と面会し、国内外の教育問題・支援のほか、コロナ禍での子どもの権利保障・ブラック校則・教育現場におけるジェンダー平等などに関する提言や意見交換を行った。	1月～10月	全国 オンライン	3896人	200
CLネット	2021年6月1日～6月30日にかけて「ストップ！児童労働キャンペーン2021」を開催。児童労働問題の意識啓発を行った。2021年は児童労働のグローバル推計の発表がキャンペーン期間と重なったことから、新しい児童労働情報を伝えるオンラインイベントを企画した。イベントには登壇者・運営を含めて60名の申込・参加があった。昨年同様、新型コロナウイルス感染拡大の影響を考え、オンラインを通じたキャンペーンを展開した。 展開内容： ①ソーシャルハブを活用したキャンペーン参加者を一覧化できる仕組みをウェブページに設置 ②Instagramのフィルター作成 ③「2021年アクションの誓い」の参加呼びかけ テレワークが昨年よりも定着したことから個人・企業・労働組合内からも参加があり、昨年より300人増の1,696人がキャンペーン活動に参加した。また、団体独自としては、本キャンペーンに合わせて児童労働新推計を反映した教材を改定しリリースを配信した。	6月	全国	1696人	80
CRCネット（広げよう！子どもの権利条約キャンペーン）	国連子どもの権利条約制定30年の節目の2019年に子どもの権利保障を目指しNGOでネットワークを設立。FTCJは実行委員として関与している。賛同団体は全国に100団体以上ある。子どもの権利に関する政策提言活動や、権利を学び活かすためのフォーラムの開催などに取り組んだ。子どもメンバーから「子ども基本法」につながる提言案に対する意見を集め、政策提言案活動を行った。院内集会を開催し、子どもが国会議員などに発言するなどした。	4月～12月	全国	2000人	500
フェアトレードタウン世田谷推進委員会	世田谷をフェアトレードタウンとして認定されるよう世田谷区民及び世田谷区にある団体など組織で構成しネットワークを構築。世田谷区内でフェアトレード商品の紹介や販売、セミナーの開催、世田谷区産業復興基本条例検討会、オリジナルドリップコーヒー商品化などに取り組んだ。	通年	世田谷区	10000人	39

4) アドボカシー事業

◆事業の目的と役割 ・ 活動内容

目的：社会問題や権利を奪われた子どもの現状、課題解決について様々な方法で多くの人に伝え、問題解決につなげる。

内容：

- ・ 出前授業・講演会・ワークショップ：83回実施（オンライン形式・動画上映含む）参加・対象人数：11,020人
- ・ FTCチェンジメーカー教育プログラム(教材開発・全国展開・キャンペーンキット開発・既存教材改定)
- ・ WE Talk "SOCIAL"
- ・ 物販（フェアトレードチーム）
- ・ 自主開催イベント
- ・ ニュースレター・メールマガジン発行、ホームページ構築・更新
- ・ 事務所訪問対応

◆助成協力：大東建託グループみらい基金、年賀寄付金助成、キリン福祉財団

▼出前授業・講演会・ワークショップ及びイベント実施活動

日時	講演先（学校・企業・団体名）	実施場所	受益対象者の範囲及び人数	講演テーマ内容
2021/1/18	中央大学	東京	20	世界の貧困・児童労働
2021/1/23	日本教職員組合	東京	500	コロナ禍の子ども・学校・社会
2021/2/4	足立区立宮城小学校	東京	90	児童労働
2021/2/7	東京学芸大学附属国際中等教育学校	東京	40	中高生にとっての社会貢献活動
2021/2/11	映画「ソニータ」オンライン上映会	オンライン	38	アフガン難民少女ドキュメンタリー
2021/2/13	世田谷区立桜丘中学校	東京	200	プレゼンスキル・生徒の活動報告
2021/2/13	子どもの権利に関するオンラインヒアリング会	オンライン	10	子ども基本法に関する提言案に関する子どもへのヒアリング会
2021/2/24	世田谷区立烏山小学校（6年）	東京	90	キャリア教育
2021/2/27	東京都議会公明党主催講演会	東京	500	子どもの権利
2021/3/3	吉祥女子高等学校	東京	260	アクション報告
2021/4/22	院内集会「包括的な子どもの権利保障を！ ～子どもとともに考える～」	東京	330	子どもの権利
2021/4/30	国際基督教大学	東京	10	子どもの権利
2021/5/1	静岡雙葉高等学校	静岡	100	世界の貧困・児童労働
2021/5/8	横浜市立平楽中学校	神奈川	32	世界の貧困・児童労働
2021/5/8	東大和市立第二中学校	東京	29	世界の貧困・児童労働
2021/5/11	横浜市立みなと総合高等学校	神奈川	215	SDGs・キャリア教育
2021/5/21	世田谷区立烏山小学校（5年）	東京	104	世界の貧困・児童労働
2021/5/23	「SDG4教育キャンペーン2021」 子ども・ユースロビイング企画メンバー研修	オンライン	24	政策提言・国内外の教育問題
2021/5/26	世田谷区立烏山小学校（6年）	東京	93	環境問題
2021/5/27	東京都立大泉桜高等学校	東京	83	世界の貧困・児童労働
2021/5/31	桐蔭横浜大学（事前収録）	神奈川	100	団体紹介、世界の社会問題
2021/6/1	愛知県教員組合	愛知	30	団体紹介・子どもの権利・アクション
2021/6/7	八尾市立高安西小学校	大阪	92	世界の貧困・児童労働
2021/6/9	パナソニック組織診断NGO・NPOセミナー	東京	60	活動紹介・報告
2021/6/12	見華学園中学・高等学校/調布調べ学習インタビュー	東京	11	活動紹介・アクション
2021/6/15	院内集会「きいてよ！私たちの声 ～子どもの権利に関する基本法実現に向けて～」	東京	70	子どもの権利
2021/6/15	鳥取城北高等学校（1年）	鳥取	26	チームビルディング・世界の社会問題
2021/6/16	鳥取城北高等学校（2年）	鳥取	169	世界の社会問題
2021/6/17	大阪府立佐野高等学校	大阪	273	世界の貧困・児童労働

日時	講演先(学校・企業・団体名)	実施場所	受益対象者の 範囲及び人数	講演テーマ内容
2021/6/17	清泉女子大学	東京	10	世界の貧困・児童労働
2021/6/18	明星大学	東京	20	世界の貧困・児童労働
2021/6/21	明星大学	東京	123	子どもの権利
2021/6/22	学習院大学	東京	150	世界の貧困・児童労働
2021/6/24	大阪府立佐野高等学校	大阪	273	アクションの起こし方
2021/6/26	東京学芸大学附属国際中等教育学校	東京	30	ケニア支援事業紹介
2021/6/27	東洋大学	東京	90	子どもの権利
2021/7/6	名古屋市長北高等学校	愛知	62	世界の貧困・児童労働・アクション
2021/7/12	世田谷区立赤堤小学校	東京	90	世界の貧困・児童労働
2021/7/13	吉祥女子高等学校	東京	269	世界の貧困・児童労働
2021/7/16	東京学芸大学附属世田谷中学校	東京	120	世界の貧困・児童労働・キャリア教育
2021/7/17	町田市立真光寺中学校	東京	40	世界の貧困・SDGs
2021/7/30	群馬県立高崎女子高等学校	群馬	40	世界の貧困・児童労働
2021/8/2	晃華学園中学・高等学校	東京	40	児童労働・団体紹介
2021/8/24	日本弁護士連合会・子ども夏季合宿	オンライン	380	子どもの権利
2021/8/25	フリー・ザ・チルドレン活動報告会 2021夏	オンライン	41	活動紹介・子どもの権利・ ミンダナオ島教育支援事業報告
2021/8/31	鳥取城北高等学校(1年)	鳥取	26	世界の社会問題
2021/9/7	大阪暁光高等学校(普通科、幼児教育コース)	大阪	65	世界の貧困・児童労働
2021/9/17	立教女学院高等学校(事前収録)	東京	600	団体紹介・子どもの権利
2021/9/19	次世代リーダー教育インターンシッププログラム ファシリテーション講座(一般公開分)	オンライン	5	ファシリテーションスキル
2021/9/26			3	
2021/9/30	埼玉県立春日部女子高等学校	埼玉	20	世界の貧困・SDGs
2021/10/4	世田谷区立烏山小学校(5年)	東京	104	SDGs・プランニングスキル
2021/10/8	上尾市立上尾中学校	埼玉	50	世界の貧困・児童労働
2021/10/14	愛知県尾張旭市教員組合	愛知	23	SDGs・世界の社会問題
2021/10/15	上智大学	東京	140	子どもの権利
2021/10/16	江戸川区立上一色南小学校	東京	380	世界の貧困・児童労働
2021/10/20	八千代市教育研究会 生活科部会	千葉	20	生活科とESD (持続可能な開発のための教育)
2021/10/20	白百合大学	東京	100	キャリア教育
2021/10/25	横浜市立横浜商業高等学校	神奈川	37	世界の社会問題・チームビルディング
2021/10/26	FITチャリティラン チャリティ団体ウェルカムイベント	東京	52	団体紹介
2021/10/30	Trash? or Treat? ~ゴミ?ごちそう?~ 2021	東京	78	飢餓・フードロス
2021/11/1	工学院大学附属高等学校	東京	80	団体紹介
2021/11/1	桐蔭横浜大学(事前収録)	神奈川	70	団体紹介
2021/11/2	高田学苑 高田中学校	三重	177	世界の貧困・児童労働

日時	講演先(学校・企業・団体名)	実施場所	受益対象者の範囲及び人数	講演テーマ内容	
2021/11/2	内閣官房子ども政策チームとの意見交換会	オンライン	22	こども家庭庁創設にむけた子どもへのヒアリング	
2021/11/4	工学院大学附属高等学校	東京	120	団体紹介	
2021/11/4	東京都立大泉桜高等学校	東京	68	世界の貧困・児童労働	
2021/11/6・7	子どもの権利条約フォーラム2021 in かわさき	神奈川	300	子どもの権利	
2021/11/8	明治大学(事前収録)	東京	80	世界の貧困・児童労働	
2021/11/15	カリタス女子中学高等学校	神奈川	170	共生社会・子どもの権利	
2021/11/17	千葉県立松戸国際高等学校	千葉	1040	世界の貧困・児童労働	
2021/11/18	工学院大学附属高等学校	東京	120	SDGs・貧困	
2021/11/20	日本子どもフォーラム	東京	500	子どもの権利	
2021/11/20	毎日メディアカフェ教育シンポジウム2021「大人って何？」	東京	100	子どもの権利	
2021/11/22	工学院大学附属高等学校	東京	80	SDGs・貧困	
2021/11/25	工学院大学附属高等学校	東京	120	SDGs・貧困	
2021/11/25	栃木県立益子芳星高等学校	栃木	159	世界の貧困・児童労働	
2021/11/29	工学院大学附属高等学校	東京	80	SDGs・貧困	
2021/12/1	院内集会「今こそ『子どもに関する基本法』の制定を！～子どもとともに～」	東京	58	子どもの権利	
2021/12/6	桐朋小学校	東京	73	世界の格差・SDGs・子どもの権利	
2021/12/9	神奈川県立有馬高等学校	神奈川	317	児童労働・アクション	
2021/12/12	フリー・ザ・チルドレン・ジャパン熊本グループ	熊本	2	児童労働・共生社会・アクション	
2021/12/13	熊本県立熊本東陵高校	熊本	80	世界の格差・SDGs・子どもの権利	
2021/12/13	WING SCHOOL	熊本	20	児童労働	
2021/12/16	フリー・ザ・チルドレン活動報告会 2021冬	オンライン	46	子どもの権利・政策提言	
2021/12/21	世田谷区立立山小学校(5年)	東京	92	アクション成果	事業費(千円)
2021/12/22	埼玉県立春日部女子高等学校	埼玉	17	児童労働・SDGs・アクション	2500

FTCチェンジメーカー教育プログラム(教材開発・全国展開・キャンペーンキット・教材改定)

活動名	活動内容	実施日時	実施場所	受益対象者の範囲及び人数	事業費(千円)
教材開発	①WellBeing教材開発 ②FTCチェンジメーカー教育プログラム教材追加	通年	東京事務所	教職員・団体の責任者など 100人	1500
全国展開	教職員向けに ①教材体験会の実施 ②メールマガジン発刊 ③相談実施	通年	全国	教職員・団体の責任者など 100人	200
キャンペーンキット	3つの無料キャンペーンキット作成・公開 CREATE CHANGE アクションキット(10円玉募金) SHARE CARDS アクションキット(書損じはがき) SPEAK UP アクションキット(声をあげよう！) Original Action Kit、Book Better Worldの改定	通年	全国	国内外の人々 約2000人	1000
教材改定・出版	学校・教員向け冊子の改定、ワークショップ教材の改訂。	通年	東京事務所	教職員・団体の責任者など 100人	400

・WE Talk "SOCIAL"、物販、広報、イベント、ニュースレター・メルマガジン発行、ホームページ構築・更新

活動名	活動内容	実施日時	実施場所	受益対象者の範囲及び人数	事業費(千円)
WE Talk "SOCIAL"	国内緊急支援事業での実施後に、事業化。事務局2回、大学生メンバー4回、大学生教育インターンシッププログラムの大学生が8回、計14回実施。	1-11月	全国	国内外の人々 約200人	100
物販	フェアトレード商品や出版物の紹介、それに関する資料作成と仕入れ、販売など。	通年	東京事務所	子ども、一般	1078
イベント	8月25日(41名参加)、12月16日(46名参加)に活動報告会をオンラインにて実施。 外部イベント：地球愛祭り	通年	全国	国内外の人々 約100人	20
ニュースレター・ アニュアルレポート発行	2020年アニュアルレポート発行 NL53号特集：FES特集 NL54号特集：政策提言特集 NL55号特集：オンラインキャンプ	3月 3月 7月 11月	東京事務所	各号750部 印刷	400
メルマガ 発行	月に2回発行	通年	東京事務所	国内外の人々 約7,000人	300
ホームページ 更新・作成	webサイト随時更新：1日平均800view程度アクセスあり。 WEBサイトリニューアルに向けたページ作成等 ニュース・レポート：1日平均300view程度アクセスあり	通年	東京事務所	国内外の人々	540

・問い合わせ及び事務所訪問対応

活動名	活動内容	実施日時	実施場所	受益対象者の範囲及び人数	事業費(千円)
事務所訪問対応	基本オンラインで対応し、希望者のみオフィスでの訪問体を実施。団体説明等。	通年	東京事務所	40	30

5) Free The Childrenプログラム（自立支援事業・緊急支援事業）

◆事業の目的と役割・活動内容目的：貧困などが原因で権利を奪われ困っている開発途上国の子ども（特に支援地域のフィリピン、インド、ケニア、エクアドルなど）や国内の子どもの権利が守られ心身ともに健康的に過ごすことができ、自立できるよう支援をする。
内容：フィリピン、インド、ケニア、エクアドルなどの開発途上国及び国内の子どもが貧困や差別から解放され自立できるよう包括的な支援事業を実施する。また、災害や紛争などによって被害を受けた地域への緊急復興支援事業を実施する。

◆助成・寄付金協力：公益財団法人庭野平和財団、大東建託グループみらい基金、東京グレートサンタラン、(株)サクスパーホールディングス、公益財団法人パブリックリソース財団「J-Coin基金」

海外事業（国際協力）

<フィリピン支援事業>

活動名	活動内容	実施日時	実施場所	受益対象者の範囲及び人数	事業費(千円)
先住民族の子どもへの教育支援	文通で子どもを支援する「文通プログラム」・チョコレートプロジェクト（～2019年）の収益、2019年夏に実施したクラウドファンディングなどの寄付を用いて、ミンダナオ島先住民族の村に暮らす子どもたちの教育環境整備に向けた支援事業を実施。当初、2020年上半年に予定していた、現地の学校修繕工事がコロナ禍で丸1年停滞したが、2021年5月～9月にかけて校舎の修繕工事を実施、8月25日に途中経緯をオンラインイベントで報告。コロナ感染拡大に伴い、竣工式は次年度へ繰り越し。	通年	フィリピン	先住民族の子ども約80人	800
ブレダ基金を通じた子ども支援・貧困地域への自立支援	寄付やフェアトレード商品の収益などによって、フィリピン・ソン島サンパレス州オロンガポに位置する現地パートナーNGOブレダ基金を通して、性的虐待・搾取を受けた少女や、路上や刑務所から救出された少年少女への自立支援や、アエタ民族や貧困コミュニティへの自立支援活動の実施。 (寄付：東京グレートサンタラン2020)	通年	フィリピン	子ども約200人、アエタ民族100人	300
視覚障害者教育支援	フィリピン盲人連合と協働し、視覚障害のある低所得家庭の中高校生が、オンライン授業に対応できるようスマホやタブレットなどのICT機器を無料提供及びICTスキル習得のためのセミナーを提供し教育を受ける権利の保障を行う活動。	9月～12月	フィリピン全土	90人	2,520

<インド支援事業>

活動名	活動内容	実施日時	実施場所	受益対象者の範囲及び人数	事業費(千円)
西ベンガル州CCD支援事業	手紙を通じて交流しながら子どもを支援する「文通プログラム」を通して集った資金や助成金、その他寄付を使って、現地パートナー団体CCDを通じて、路上や児童労働などから救出され施設で生活する子どもと貧困家庭で暮らす子どもが学校に通え、栄養ある食事で健康に暮らせるよう事業。今年度はコロナの影響でロックダウンになったことから、養護施設の運営ができなくなり、事業実施を変更し教育支援ではなく、貧困地域での食糧支援の実施に切り替え行った。 (助成：公益財団法人庭野平和財団 その他協力：CLASSICS the Small Luxury)	1月～6月	西ベンガル州	西ベンガル州コルカタ周辺貧困地域の1018世帯	790
マハラシュトラ州ムンバイ郊外貧困地域の子ども教育支援	マハラシュトラ州の州都ムンバイ郊外の貧困地域の子どもへの教育支援を現地NGOを通じて実施。具体的には小学生315人に文房具、学用品を提供し、10学年（日本の高1に相当）までの生徒60人に、オンライン授業を受けるためのICT端末を提供し、オンラインや対面授業を通じて質の良い教育を受けられるように支援した。 (助成：大東建託グループみらい基金)	4月～12月	マハラシュトラ州	1年生～10年生まで375人	800

<ケニア支援事業>

活動名	活動内容	実施日時	実施場所	受益対象者の範囲及び人数	事業費(千円)
ケニア・保健医療支援事業	ケニアナロック群南ナロック県のマサイ民族やキクユ民族に対して、コロナ感染を予防・治療するためのモバイルクリニックを通じた支援を実施。マスクや石鹸、水を提供し、村びと、特に子どもや妊産婦への健康向上・維持のための保健医療支援を行った。 (助成・寄付：大東建託グループみらい基金/東京グレートサンタラン2020)	4月～12月	ケニアナロック群南ナロック県先住民族コミュニティ	ケニアナロック群南ナロック県エシノニ村約1200人	700

<海外緊急・復興支援事業>

活動名	活動内容	実施日時	実施場所	受益対象者の範囲及び人数	事業費(千円)
フィリピン：コロナ緊急食糧支援	ルソン島サンパレス州内の先住民コミュニティや、パナイ島イロイロ州内コミュニティにて、コロナ禍で収入を失ったり収入が減少した貧困家庭に向けた食料・生活用品物資緊急支援を実施。 (協力：㈱サックスバーホールディングス)	5月～6月	サンパレス州内及びイロイロ州内	220世帯	400
フィリピン：コロナ視覚障害者緊急支援事業	フィリピン盲人連合と協働し、コロナ禍で収入を失った、視覚障害のあるマッサージ師を対象に、マッサージ師以外の仕事を起業したり、マッサージ院を再開したりすることで再び収入を得て自立できるようにすべく、ICTスキルを習得する研修や、起業・営業再開に必要な資金を無償で提供した。	1月～8月	フィリピン全土	125人	200

国内事業

<国内の子ども支援事業>

活動名	活動内容	実施日時	実施場所	受益対象者の範囲及び人数	事業費(千円)
経済的困難を抱える家庭の子ども支援(スカラシップ制度)	経済的な理由などでキャンプへの参加をあきらめざるを得ない子ども達を対象にキャンプに無料で参加できるよう支援した。毎年、宿泊型で実施をしている、社会問題とアクションを考えるリーダーシップキャンプは、新型コロナウイルスの影響により、昨年に続き今年もオンライン開催となったが、ゴールデンウィーク2日、夏休み4日間、合計6日間オンラインキャンプを実施。全プログラムに小学5年生～高校3年生の計58名が参加し、うち14人をスカラシップ生として無料招待。希望者にパソコンとWIFIの貸し出し支援を行った。(支援協力：大東建託グループみらい基金)	5月～12月	オンライン	14人	1,150
子育て家庭・生活困窮者支援	ひとり親家庭など経済的な困難を抱える子育て家庭に対して、食品提供を実施 (協賛：株式会社メディアブランズUM)	8月～10月	東京、大阪、新潟	1500世帯	31
経済的困難を抱える家庭の子ども支援(入学・入園・進級応援金)	新学期の準備ができるよう経済的問題に直面する20才未満の子どもがいる世帯に対し、5000円を応援金として提供。応募条件は国籍問わず、国内居住で次の一つでも当てはまる家庭とした。生活保護受給世帯、児童扶養手当受給世帯、住民税非課税世帯、就学援助を受けている世帯、失業やコロナウイルスの影響で昨年の所得が住民税非課税家庭と同レベルに減収している世帯、お子さんが4人以上いる世帯、その他の特別な事情がある場合(例：災害に遭い経済的に困難な状況、外国にルーツがある等) 2月中旬に呼びかけをし、100人以上からの申込があったため、寄付を募り、最終的に104世帯へ応援金を支給した。 (助成：公益財団法人パブリックリソース財団「J-Coin基金」)	2月～4月	全国	104人	680
オーガニックお弁当提供活動	コロナ禍で経済的な困難を抱える家庭や生きづらさを感じる家庭及び何らかの障害のある子どもたちに対して、オーガニック食材による健康的なお弁当の提供を千葉県オーガニックカフェEDENと協働して実施。 ●市川市内の子ども食堂3箇所 & 高校にて定時制高校生の夕食の給食代わり ●佐倉市の障害のある子どもの学童 ●佐倉市の寺子屋オーガニックカフェEDEN (助成：公益財団法人パブリックリソース財団「J-Coin基金」)	1月～3月	千葉県	880人	350

6) Change Makers Fes事業

2007年にカナダ・トロントにて始まった子どもや若者の間で自主的な社会貢献活動を根付かせるためのライブイベントWE Dayの日本版の初開催を2020年3月に予定していたものの、新型コロナウイルスの情勢を受け、延期を決定していた。事業名をWE Day JapanからChange Makers Fesに変更し、本年オンラインという形となったが、初開催をした。昨年のWE Day Japanにすでに申し込みをしていた参加者も招待し、本年の新たな参加者も募集した。また、コロナ禍でアクションを起こす若者のムーブメントを、より多くの人に見てもらい、日本全体をエンパワーするため、本年はYouTubeで生配信を行った。

【コンセプト】誰かのためにアクションを起こした子どもや若者を招き、祝い、エンパワーするライブイベント

【イベント名】Change Makers Fes 2021 ～誰かのために動く、キミのための日。～

【日時】2021年3月20日(土・祝) 14時～17時

【会場】オンライン (zoomおよびYouTube)

【対象】SDGsの目標として掲げられている国内外の社会課題解決に向けて、ボランティア活動など何らかのアクションを起こした25歳以下の子どもや若者。また、こうしたムーブメントに関心を寄せるおとな。

【目的】

1. 参加者の子どもや若者が、多様な立場に置かれる人々や異なる価値観を理解し、一人ひとりが尊重されることの大切さを感じ、彼らの自己肯定感を高める。
2. 参加者の子どもや若者が、SDGsに紐づく国内外にある社会問題を知り、それらの問題と自分自身が繋がっていることに気づき、自分ができることを考え、行動できる素地を養えるようにする。
3. 参加者の子どもや若者が、自分が動くことでより良い変化を起こせると感じ、彼らの自己効力感を高める。

【参加費】無料

【プログラム】社会課題を解決するためのアクションを起こした子どもや若者を祝い、エンパワーメントする内容

- ・社会活動家・著名人などによるスピーチ、パフォーマンス
- ・子どもや若者によるアクションによるインパクト(成果)の発表
- ・子どもや若者活動家(参加者)によるスピーチ、パフォーマンス

【協力】一般社団法人OSAKAあかるクラブ、一般社団法人オール・ニッポン・レノベーション、NPO法人WAKE UP JAPAN、一般社団法人One Young World Japan Committee、広げよう！子どもの権利条約キャンペーン

【助成】大東建託グループみらい基金

【事務局】株式会社フロンティアインターナショナル

活動名	活動内容	実施日時	実施場所	受益対象者の範囲及び人数	事業費(千円)
Change Makers Fes	<p>2021年3月20日にChange Makers Fesを開催するための準備やアドボカシー活動を実施した。イベント当日午前中にはオンライン交流会も開催した。これは、フリー・ザ・チルドレン・ジャパンの子どもアンバサダーおよび前年のWE Dayユースアンバサダーが企画・ファシリテーターを務めて行った。</p> <p>イベント本編は26人の出演者が代わる代わるスピーチやパフォーマンスを行う形で進行した。当日のYouTubeの視聴数は2,906回となった。</p> <p>また、イベント参加者が提出したソーシャルアクションの活動報告212件をまとめた、ソーシャルアクションレポート2019-2021を発行しウェブで紹介するなど行った。</p> <p>2022年度のイベントについては、新型コロナウイルスの情勢が落ち着いた場合を見込んで、会場開催も想定し会場の予約も行っていましたが、4月時点で難しいと判断し、オンラインでの開催に向けて準備を進めた。</p>	<p>通年</p>	<p>オンライン 東京</p>	<p>2000人</p>	<p>8151</p>

7) 管理部

管理・その他、この法人の目的を達成するために必要な事業に関する報告

活動名	活動内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	事業費(千円)
翻訳	事業の運営に関係する資料を日・英に翻訳。	通年	東京	30	25
研修受講	円滑な組織・事務局運営のため下記の研修を受講 トラウマを抱えた子どもや若者への対応について	通年	東京	10	50
個人情報管理	アクセスのデータを構築デザインし、メンバーや協力者などの個人情報を整理し管理を行った。	通年	東京	3	250
ファンディング	サポーター増強のためのWEBサイトの更新、報告会の実施、googleアナリティクスの運用などを実施	通年	東京	3	500
広報・ブランディング	web媒体が増える中、団体のブランディングを統一し発信できるように、専門家を次年度より雇用できるように体制を整えた。	通年	東京	3	500
問い合わせ対応	メール、電話、FAX、郵送にて事務局に届く問合せや連絡に対応。対応例：事務所訪問、出張講演調整、教材や物販の注文、団体など組織からのアンケートへ返答、子ども、大学生、社会人からの質問返答、メンバー希望、団体への質問返答など	通年	東京	3	700
会計	組織の透明な会計のための団体に関する資金の流れを管理し帳簿を付けるなどの業務を実施。	通年	東京	2	2000
理事会運営・管理	事業を円滑に実施するための理事会の運営。	通年	東京	11	66
その他	事務所運営管理、什器管理など。	通年	東京	5	10

【活動のご協力】

◆助成協力：東京都 正規雇用等転換安定化支援助成金、NGOインターンプログラム、持続化給付金、家賃支援給付金

【事務局体制、役割報告】

原元望：事務局長

伊藤菜々美：子ども活動応援事業リーダー

板倉香子：会計・総務

広瀬太智：子ども活動応援事業 スピーカー・ファシリテーター

鈴木洋一：子ども活動応援事業

鈴木悠仁子：子ども活動応援事業

【理事兼任】

中島早苗：海外自立支援事業・全事業

出野恵子：子ども活動応援事業

伴野保志：個人情報管理システム構築

藤井裕子：関西での活動

【インターンご紹介】

2021年度は下記のインターンのみなさんが活動を支え担当の事業を担いました。（敬称略・順不同）

石田瑠梨：翻訳・イベント運営、広報・キャンプファシリテーター

吉田凜：翻訳・イベント運営、広報・キャンプファシリテーター

杉野 若葉：子ども活動応援・子どもの権利条約キャンペーン・テイクアクションキャンプ

スワティ ミットル：翻訳、海外支援

S.S：広報・教材開発・事務局運営・翻訳・ウェブサイト管理・SDG4教育キャンペーン2021運営

【事務局ボランティアご紹介】

坂口奈々：個人情報管理・入力

芝原沙暉：進級・入学支援金立ち上げ運営サポート

メディア掲載一覧

2021年1月～12月にメディア等などで配信・紹介されたFTCJの活動です。

時期	メディア配信・媒体名	内容
通年	高校英語教科書UNICORN	FTCを創設したクレイグ少年の物語がレス ントピックとして掲載されています。
通年	高校英語教科書English Now !	FTCを創設したクレイグ少年の物語がレス ントピックとして掲載されています。
通年	中学生公民教科書	FTCを創設したクレイグ少年の物語がレス ントピックとして掲載されています。
通年	英語教科書 ONE WORLD	FTCを創設したクレイグ少年の物語がレス ントピックとして掲載されています。
2021/1/12 2021/1/19	東京新聞 中日新聞	「子ども基本法」制定に向けた活動と、中島 のコメントが掲載されました。
2021/3/12	日本テレビ「スッキリ」	土屋アンナさんからチェンジメーカー・フェ ス2021をご紹介いただきました。
2021/3/23 2021/5/23	生活教育（日本生活教育連盟）	子どもアンバサダーの寄稿文が掲載されまし た。
2021/6/7	朝日新聞	子どもアンバサダー（当時）の坂口くり果さ んの活動が掲載されました。
2021/6/16	毎日小学生新聞	子どもアンバサダーの波田野優さんの活動が 掲載されました。
2021/7/6 ～8/31	北羽新報・苫小牧民報・デーリー東北・岩手日日新聞 東愛知新聞・北日本新聞・長野日報・島根日日新聞	「SDG4教育キャンペーン2021」子ども・ ユースロビイング企画を兼任した子どもアン バサダーが、自民・立民議員と面会した時の 様子が掲載されました。（いずれも同文）
2021/8/25	TBSラジオ「アシタノカレッジ」	中島と、子どもアンバサダー（当時）の坂口 くり果さんがオンラインで出演しました。ま た、チェンジメーカー・フェスもご紹介いた だきました。
2021/9/26	朝日新聞	「SDG4教育キャンペーン2021」子ども・ ユースロビイング企画を兼任した子どもアン バサダーが自民党を訪問した時の様子が掲載 されました。
2021/11/19	毎日小学生新聞	「子どもの権利条約フォーラム2021 in かわ さき」の分科会A-6に登壇した、子どもアン バサダーたちのコメントが掲載されました。
2021/12/4	毎日新聞	伊藤と子どもアンバサダーに登壇したイベン ト、毎日メディアカフェ教育シンポジウム 2021「大人って何？」の様子が紹介されまし た。

7.会議の開催

(1) 総会

通常総会(2021年度)

(ア) 開催日時及び場所

2021年03月20日(火) 13時30分から15時00分まで
会場：フリー・ザ・チルドレン・ジャパンオフィス
住所 東京都東京都世田谷区南烏山6-6-5 3F

(イ) 議題

第1号議案

2020年度 事業報告書(案)と2020年度会計収支決算書(案)に関する事項

第2号議案

2021年度事業計画(案)と2021年度収支予算書(案)に関する事項

第3号議案

2021年度の役員(理事、監事) 選任に関する事項

- (a) 理事会役員の件につき、内容の説明を行い協議
- (b) 事務局体制と顧問の紹介

(2) 理事会

第1回理事会

(ア) 開催日時及び場所

2021年7月29日 19:00 ~ 21:00 オンライン開催

(イ) 議題

I.審議事項

- 1. 2021年度理事体制、及び事務局体制について
- 2. 2021年度事業中間決算の共有
- 3. WEカナダの状況の共有と今後の審議について
- 4. 組織診断についての中間報告と方向性への審議
- 5. 次回理事会・総会開催について
- 6. その他

II.報告事項

1.事務局より

第2回理事会

(ア) 開催日時及び場所

2021年11月30日 19:00 ~ 21:00 オンライン開催

(イ) 議題

I.審議事項

- 1. 2021年度事業進捗及び、暫定収支活動報告書の共有
- 2. 2022年度事業案について
- 3. 次回理事会について
- 4. その他

II.報告事項

1.事務局より